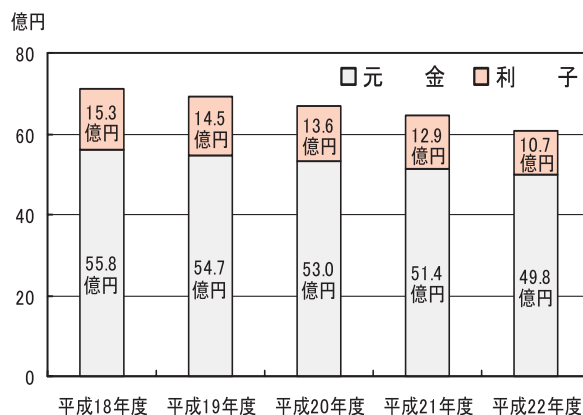




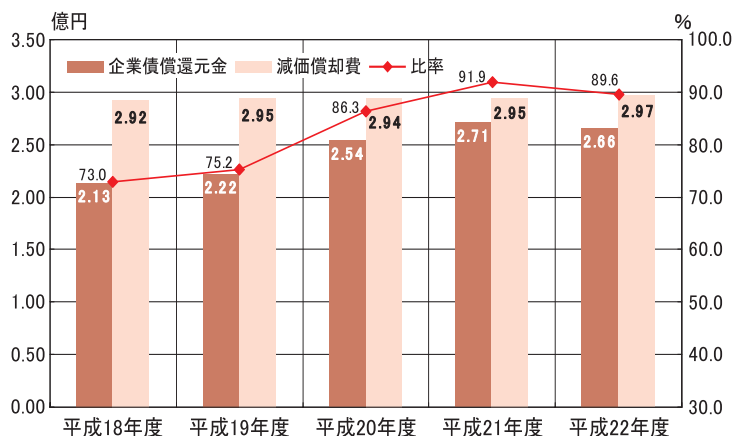
企業債の状況

市は、安定的に水道水をお届けするため、管路の整備や耐震化などの建設投資を行っています。企業債はこれらの建設改良に伴う資金が必要なとき、その財源として発行を認められるものです。平成22年度は、1億760万円の企業債を発行しました。また、これまで借り入れた企業債の元金2億6,593万円と利子2億1,298万円、合計4億7,891万円を支払いました。



減価償却費と企業債償還元金のバランス

企業債の償還元金が減価償却費よりも多くなると、償還するための資金が無く、純利益からその財源を求めなければなりません。このバランスを見ることにより財政の安定度を計ることができます。現在では、この比率は増加の傾向にありますが、企業債の発行を抑え、安定した経営を行えるように努めています。



給水量と給水戸数の状況

炊事や洗濯、入浴など私たちの生活に欠かせない水は、平成22年度末の行政区域人口が5万2,020人に対して5万1,149人が利用しており、水道普及率が98.3%。市内のほとんどの家庭に水道水を供給しています。

また、給水戸数は、家事用・家事用以外・公衆浴場用・臨時用と4つの用途に分かれており、家事用は、給水戸数が2万戸を超え、給水量は343万立方メートルの水を供給しました。

家事用以外は、給水戸数はここ数年増減が微少で、給水量が平成18年度と比べ、大きく減少しています。

家事用以外の減少は、長引く景気低迷や大口利用者の自己水源利用などによる影響が大きいと考えられます。

臨時用は、道路や住宅工事に水を使用したものです。



用途区分	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	給水戸数 (戸)	年間給水量 (m ³)	給水戸数 (戸)	年間給水量 (m ³)	給水戸数 (戸)	年間給水量 (m ³)	給水戸数 (戸)	年間給水量 (m ³)	給水戸数 (戸)	年間給水量 (m ³)
家事用	20,652	3,470,370	20,756	3,460,570	20,774	3,369,737	20,787	3,402,390	20,825	3,431,644
家事用以外	1,316	918,210	1,313	872,618	1,270	836,276	1,236	814,477	1,216	803,091
公衆浴場用	4	31,911	4	16,957	3	6,991	3	5,765	2	5,986
臨時用	48	9,880	39	1,552	40	4,040	55	2,920	44	1,163
合計	22,020	4,430,371	22,112	4,351,697	22,087	4,217,044	22,081	4,225,552	22,087	4,241,884
1日平均給水量	12,138m ³		11,890m ³		11,554m ³		11,577m ³		11,622m ³	